

2021年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
外国語 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	2
担当教員	William Jackson			実務 経験	有	職種	英語講師				
授業概要											
講師の英語を聴きながらのテキストの読み合わせ。分からない単語のメモ。授業後、次の授業までに意味の検索。画像、映像視聴。ダンス授業・レッスンで使用される英語歌詞楽曲を活用しての授業。											
到達目標											
具体的にはダンスパフォーマンスに役立つ、活用出来る英語の習得。声の出し方のボリューム・アップ。検索力の向上。国際的な活躍が出来るダンサーとしての語学力の基礎を作る。											
授業方法											
実用性のある英語を活用したコミュニケーション能力の向上。英語力習得の価値の理解。異文化に触れることでの多様性の理解。学校受験目的の勉強で起きてしまっている英語に対するアレルギー反応の除去。技術の進歩によって、IQの向上よりEQの向上が合理的だと言うことへの理解。(勿論IQ向上も大切ではありますが。)											
成績評価方法											
試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する									
成果発表	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
教員と学生、学生間のコミュニケーションを重視。楽しい(得だ)と思ってもらうこと。押し付けないこと。腹落ちするまでの面談の実施も検討。進行状況によっては後期での上方・下方修正。良い案を取り入れることに対する柔軟性。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。オンデマンド授業講義を受講し課題を必ず提出する事。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	必要性ガイダンス、テキストChapter1の予習										
第2回	ガイダンス、画像・映像の視聴、テキストChapter1の実施										
第3回	ガイダンス、テキスト Chapter1の復習、Chapter2の実施										
第4回	ガイダンス、テキスト Chapter2の復習、Chapter3前半の実施										
第5回	ガイダンス、テキスト Chapter3前半の復習、Chapter3後半の実施										
第6回	ガイダンス、テキスト Chapter 3 後半の復習、Chapter4の実施										

2021年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
外国語 1	
第7回	ガイダンス、テキスト Chapter4の復習、Chapter5の実施
第8回	ガイダンス、テキスト Chapter5の復習、Chapter6前半の実施
第9回	ガイダンス、テキスト Chapter6前半の復習、Chapter 6 後半の実施
第10回	ガイダンス、テキスト Chapter6後半の復習、Chapter7と8の実施
第11回	ガイダンス、テキスト Chapter7と8の復習、Chapter9の実施
第12回	ガイダンス、テキスト Chapter9の復習、Chapter10の予習
第13回	英語実技発表1
第14回	前半のまとめ
第15回	前半の振り返り